

研修終了後、助成金を受け取るまでの流れ

STEP 1 登録養成機関（下表参照）での研修が修了

STEP 2 横浜市内の介護保険事業所（※①②参照）で就業（就業開始から1ヶ月以上かつ10日以上従事）

STEP 3

申請書類一式を（公社）かながわ福祉サービス振興会（以下振興会）に郵送【令和4年2月28日締め切り】
■助成金交付申請書（第1号様式） ■受講料支払証明書（第2号様式） ■就業証明書（第3号様式）
■就業日数管理表（第3号様式別紙） ■受講修了証明書の写し ■住民票

STEP 4

振興会が申請書類一式を審査した後、助成金交付決定者には「横浜市訪問介護等資格取得支援事業受講料助成金交付決定通知書（第4号様式）」を郵送します。

第4号様式受領後、「横浜市訪問介護等資格取得支援事業受講料助成金交付請求書（第6号様式）」を記入の上、振興会に郵送【令和4年3月15日締め切り】

振興会が第6号様式を確認した後、指定の口座に助成金額を振込みます。

☆申請（ステップ③）から助成金振り込みまでに1ヶ月半から2ヶ月程度かかります。

■助成対象者

次の要件をすべて満たす方

- (1)申請時の住所地が横浜市内である方
(2)登録養成機関における介護職員初任者研修又は生活援助従事者研修の受講開始日が令和2年4月1日以降の方
※(3)の②の場合には、受講開始日が令和3年4月1日以降の方
(3)資格取得後から、助成金申請受付期限（令和4年2月28日）までに次の①又は②のいずれかを満たしている方
①横浜市内の訪問介護事業所等（※①）で就業を開始した後（登録ヘルパー等にあっては実働を開始した後）、1ヶ月以上経過し、10日以上従事している
②横浜市内の介護保険事業所（※②）に常勤の介護職員として就業を開始した後、1ヶ月以上経過し、10日以上従事している
(4)他に国、都道府県等公的機関から本申請に係る研修費用に対する助成（本事業の助成を含む）を受けていない方

※①訪問介護、第1号訪問事業、夜間対応型訪問介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護

※②訪問入浴介護、通所介護、第1号通所事業、地域密着型通所介護、療養通所介護、認知症対応型通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、認知症対応型共同生活介護、特定施設入居者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院

横浜市訪問介護等資格取得支援事業 登録養成機関一覧

令和3年4月1日現在（50音順）

養成機関名	連絡先	受講料（税込）	通信・通学
あいしまホームヘルパーカレッジ	045-363-8121	85,000円	通学
カイゴジョブアカデミー	0120-90-1144	42,900円	通信
学研アカデミー	03-6431-1606	65,010円	通信・通学
かながわ福祉保健学院	045-989-2650	59,500円	通信
社会福祉法人喜楽会研修センター	042-778-7213	43,000円	通信
参加型福祉研究センター	045-222-8720	82,500円	通学
三幸福祉カレッジ	030-3343-2916	87,780円	通信
湘南国際アカデミー	0466-54-7290	86,000円	通信
藤仁館医療福祉カレッジ横浜校	045-565-9880	97,900円	通信
株式会社ニチイ学館	045-319-5520	88,000円	通信
ひだまりカレッジ	045-852-0362	66,795円	通信
プラチナ俱楽部介護スクール	045-830-0022	65,000円	通学
未来ケアカレッジ	045-290-6700	65,450円	通信
よこはま介護アカデミー	045-300-0881	55,544円	通学
横浜市福祉サービス協会	045-227-1710	50,000円	通信

・受講料が変更になる場合があります。

・助成金の申請には、上記登録養成機関での研修受講が必要です。登録養成機関以外で研修を受講した場合は申請が出来ませんのでご注意ください。

・研修会場は、各養成機関にご確認ください。

・通信講座は、スクーリング（通学）が必要な場合があります。詳細については、各養成機関にご確認ください。

・この登録養成機関一覧は、令和3年4月1時点のものです。今後、新規登録などにより掲載内容が変更となる場合がありますので、最新の登録養成機関一覧は、かながわ福祉サービス振興会のホームページにて、ご確認ください。

申請期限：令和4年2月28日 ☆期限前であっても、助成金の予算に達した時点で受付を終了します。

横浜市
訪問介護等
資格取得支援事業



ホームヘルパー（訪問介護員）とは？

介護を必要とする方の住まいを訪問し、介護のプロとして日常生活を送る上で必要となる身体的な介護や家事をサポートするスタッフ。

介護の必要な方の住み慣れた地域・自宅での暮らしを支えます！



◆ホームヘルパーになるためには？

「介護職員初任者研修」または「生活援助従事者研修」を修了していることが必要です。

助成金額はいくらまで？

介護職員
初任者研修
上限 70,000円*

（受講要件なし・研修時間：130時間）

▼研修修了後にできる仕事内容

・身体介護（入浴、排せつ、食事の介助など）・生活援助（洗濯、掃除、買い物など）

生活援助
従事者研修
上限 30,000円*

（受講要件なし・研修時間：59時間）

▼研修修了後にできる仕事内容

・生活援助（洗濯、掃除、買い物など）

*助成金額の上限です。受講料が各研修の助成金額未満の場合は、実際の受講料が助成金額となります。

申請方法など、お問い合わせは下記まで

（公社）かながわ福祉サービス振興会 福祉教育課

<https://www.kanafuku.jp/>

かなふく 資格取得

検索

電話 045-210-0788 (平日 9:00 ~ 17:00) FAX 045-671-0295

見開きページでホームヘルパーの仕事とその魅力を紹介！

助成金申請の
詳細はこれら！



ホームヘルパーってどんな仕事なの？

利用者さんの笑顔と
「ありがとう」の一言をやりがいに。

ホームヘルパー歴9年5ヶ月、2人の子どもは所帯を持ち近隣に在住、小学生の孫が1人います。趣味は旅行、年に1~2回は海外に行っていましたが、今はコロナの影響で行けず…着付けのアルバイトと掛け持ちで働いています。

ホームヘルパーってどんな仕事？ ホームヘルパーの魅力は？

高齢者や障がい者などのお宅を訪問し、家事の手伝いや、入浴、排泄、食事などの生活全般をサポートしています。何を手伝えば利用者さんが一人でできるようになるのか、日々考えながら自立のお手伝いをしています。

利用者さんからの「ありがとう」という言葉を聞くたびに、やりがいを感じる事が出来ます。元々主婦だったので、今まで行ってきた家事をそのまま仕事に活かすことができ、早く慣れることができたことも魅力の一つです。
人間関係に悩むこともなく、毎日楽しく利用者さん宅へ通っています。

この仕事についたきっかけは？

病気の夫を在宅で看取ることになり、ヘルパーに訪問してもらひ、夫が亡くなった後に、担当をしていたサービス提供責任者からホームヘルパーの仕事を勧められました。

今までアルバイト程度の仕事しか経験がありませんでしたが、得意の家事を活かせることと、夫を看取ってくれた方々への恩返しの気持ちもあり、ヘルパーの仕事を始めました。

この仕事について大変だったこと

雨風の強い時や夏の暑さ、冬の寒さの中、移動が厳しいと感じる時があります。
家により使用している掃除機も様々、家庭のルールも利用者さんごとに違い、慣れるまでは少し大変でしたが、一番大事なことは利用者さんの気持ちに寄り添うという事だと気づき、今では新規のお宅も不安なく訪問することができます。

この仕事についてよかったです、嬉しかったこと

がんの末期の利用者さんで、人見知りがあり、特定のヘルパーしか入れないお宅でした。
訪問を続ける中で、徐々に信頼関係を築くことができ、オムレツを作つてほしいと頼まれ配膳をすると、「私はこのオムレツがあれば、なんとか生き延びられるわ」とおっしゃってくださいました。

日に日に状態が悪くなり、ベッド上で目も開けられない状態になっても、今日はヘルパーが来る日だと待っていてくださり、声掛けをすると「肉じゃがとおうどんを作つてほしい」とご希望されました。ほとんど食事ができない状態でしたが、「いい匂いだね～」とおっしゃってくれました。

それから3日後に息を引き取られましたが、最後までお世話することができた時は、この仕事について本当に良かったと思うことができました。

ホームヘルパーを目指す方へのメッセージ

知らない利用者さんのお宅に一人で行き、サービスを行うことは不安に思う方も多いかと思いますが、いつでも相談に乗り、駆け付けてくれるサービス提供責任者がいるため、不安なく訪問することができます。

なければ若いなりに体力、意欲があれば、それなりに給与をもらうことができ、高齢の方でも、自分自身の気持ち次第で定年もなく働き続けることが可能です。一緒に超高齢化社会を支えませんか？

上司の方から見て どんな方？

一言で言えば「女優」です。ご利用者のタイプに合わせ、変幻自在、ある時には優しい奥様、ある時には元気なお母さんへと変化します。ご利用者の変化にもいち早く気づき、事務所へ報告、相談をしてくれるため、安心して任せることができます、スタッフからの信頼も厚いヘルパーです。

この制度をぜひ活用しましょう！

~横浜市訪問介護連絡協議会からのメッセージ~

助け合いの精神が大切なこの時代、ぜひこの制度を利用して資格を取り、私たちが日々感じている訪問介護に対するやりがいをみなさんにも感じていただきたいです。これからも需要が増える「ホームヘルパー」という仕事を始めてみませんか？



ホームヘルパーの魅力って？

仕事の量・時間が調整でき、
子育てと家事との両立が可能！

パート職員として3年半程前から就業、ホームヘルパーとして活躍する幼稚園年中と小学生の2児の母。最近は感染予防で外出できないため、子どものためにアニメのキャラクターのコスチュームをミシンで作ったりしています。



きょうの仕事

時間	今日の仕事
9:20~	自宅から利用者宅へ直行
9:50	起床介助、排泄介助、食事提供、服薬確認
10:00~	徒歩で移動、服薬確認
10:30	
11:00~	バスで移動、排泄介助、
12:00	食事介助、服薬確認
12:15~	スタッフの車で送迎、入浴介助
13:15	
【休憩】帰宅、昼食、夕食準備、洗濯取り込み	
16:00~	バスで移動、掃除
16:30	
16:40~	徒歩で移動、
17:10	デイサービスお迎え
18:00~	バスで移動、トイレ誘導、食事提供、服薬確認
18:30	業務終了、帰宅

1週間の仕事の流れ

週5日勤務、日月はお休み、多い日では10件、少ない日は5件ほど回ります。

直行直帰なので、自宅から利用者宅へ公共の交通機関を利用し移動しています。移動時間が少なく、バスでは間に合わない時は、サービス提供責任者が車で次の利用者さん宅へ送ってくれます。

サービスとサービスの間が長く空く時は、一度家へ戻り、家事をしたりしています。

月収の目安は、1日4時間30分、週5日勤務で、約15万円です。

きょうの仕事

1対1で利用者さんのお世話を出来るのが好きです。食事を作つて美味しいといつてもらう、笑顔にならうことは嬉しいですね。曜日によって、自分の働きたい時間があるので、それに合わせて働くことが出来るのも魅力です。

この仕事についたきっかけは？

以前は施設勤務でしたが、2人目の子どもの出産を機に退職。復職する際は、子育てと仕事を仕事と両立させるために訪問介護で働くことを選びました。

この仕事について大変だったこと

訪問介護の仕事を始めた当初は、自分一人で訪問をすることに不安がありました。

訪問する利用者さんごとに介助方法が違うのはもちろんの事、調理方法や、掃除の道具、方法も違うので、サービスの手順や利用者さんの事を理解するまでは大変でした。

それでも、利用者さんごとのサービス手順書を事前に受け取つてイメージトレーニングしたり、安心して一人で訪問出来るようになるまではサービス提供責任者の先輩に同行してもらえたり、困った時には指導も丁寧にしてもらえたので、不安は和らぎました。仕事に慣れてきた今では、利用者さんのわずかな体調変化などに気がつくように注意しています。

この仕事についてよかったです、嬉しかったこと

ホームヘルパーの仕事は、仕事の指導や色々な相談にのってくれるサービス提供責任者と自分との相性が良ければ、後は利用者さんとの人間関係を上手に作るだけで、他に煩わしい人間関係などに悩まされることはありません。

利用者さんやご家族としては、ホームヘルパーは「どんな人が来るんだろう？」と不安に思われる方も多くいらっしゃると思いますが、「○○さんが来てってくれて良かったわ、助かったわ」などと声をかけて頂けた時に、こんな私でも力になれた事が嬉しく思い、訪問させていただけ喜びになっています。

利用者さんだけでなく、遠方に住んでいてそばで介護が出来ないご家族にも安心して頂くことが出来るので、ホームヘルパーをしていて良かったと思います。

ホームヘルパーを目指す方へのメッセージ

私がキャリアアップのために介護福祉士になりたいと思っていることを上司に打ち明けたところ、会社が神奈川県の人材育成事業に応募してくれたので、費用の負担なく「介護職員実務者研修」を受講することができ、無事に介護福祉士に合格することができました。

私が介護職員実務者研修を受講する事ができたのは、私が担当する利用者の仕事を、同僚のヘルパーやサービス提供責任者が代わってくれたおかげです。

ヘルパーみんなで助け合つて仕事をしているのが訪問介護だと思います。

上司の方から見て どんな方？

とても真面目で、ほんわかしたタイプのヘルパーさんです。どのご利用者からも評判が良く、人当たりが良いのでどのようなお宅にも訪問してもらえて助かっています。仕事に対する意識が高く、事業所としてとても信頼のおけるヘルパーさんです。

この制度を活用した方の声



10年近くパートとして介護の仕事をしていましたが、今回勉強させてもらって自信が付きました。この勉強を活かしてよりよい仕事が出来ると思います。



研修費用が高額だったので、とてもありがたかったです。久しぶりの学習で学生たちと机を並べてとても楽しく、多くを学ぶことが出来ました。



訪問するお一人お一人とじっくり関わりながら、生活をサポートできる事にやりがいを感じています。この制度を活用して良かったです。